

令和2年度岩手県幼少年婦人防火委員会会長表彰

火災予防啓発に貢献

遠野小学校 少年消防クラブ

千田舜さん(小6)◎
白金結衣さん(小6)

遠野市少年消防クラブ
育成会会長

後藤良子さん
(遠野北小学校校長)



火災予防意識の啓発に大きく貢献したとして、遠野小学校少年消防クラブ(同小4～6年118人、細川昭子校長)と遠野北小学校の後藤良子校長が同表彰を受賞しました。表彰は、他の模範となる活動を長年継続したクラブやクラブ指導者をたたえるもの。

遠野小学校は、定期的な避難訓練や防火ポスターコンクールへの応募などのほか、20年以上にわたって冬期間の夜回り活動を実施しました。後藤校長は、遠野市少年消防クラブ育成会の会長として市内クラブの指導をけん引してきました。

夜回り活動に取り組む遠野小学校第1区子ども会会長で、少年消防クラブ員の白金結衣さんは「これからも、地域の安全を守るためにみんなで意識を高めて火の用心の声掛けを続けていきたい」と決意を新たにしました。

10月20日 遠野緑峰高校と市農業委員会がエゴマ収穫

緑峰初・育てたエゴマ収穫

遊休農地解消に取り組む市農業委員会と連携し、エゴマ栽培に初挑戦している遠野緑峰高校で収穫作業が行われました。同校生産技術科2年生と市農業委員ら約15人が参加。



エゴマを収穫する生徒と農業委員ら

2m程の高さに育ったエゴマを鎌を使って収穫しました。生徒らは今後、健康食品として注目されるエゴマ油作りにも挑戦する予定です。

10月13日 達曽部保育園で防犯教室

お巡りさんが絵本読み聞かせ

防犯教室(遠野警察署主催)が同園で開かれ、市内で初めて遠野警察署員が絵本の読み聞かせを行い、子どもたちに不審者から身を守る方法を伝えました。同教室には達曽部保育園3～5歳児クラスの23人が参加。園児は、防犯の約束「いかのおすし」を元気に復唱し、地域のお巡りさんと親睦を深めました。



読み聞かせをする達曽部駐在所の工藤所長◎

10月14日 「郷土の偉人を学ぶ」総合的な探究の時間

故・岸田袈裟さんの活動学ぶ

遠野緑峰高校1・2年86人が、本市出身でアフリカ・ケニアの衛生面や生活の改善などに尽力した故・岸田袈裟さんの活動を学びました。袈裟さんの姪・菊池弥生さん(上郷町)が講話。生徒は、遠野の文化を参考にして「かまど」や「草履」を広め、草の根に行き届く活動を続けた袈裟さんの思いに触れました。

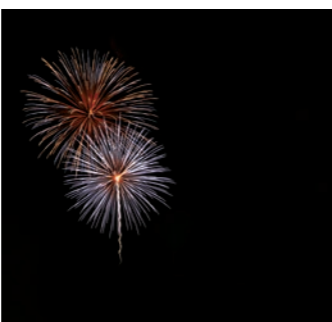


袈裟さんの国際協力活動や思いを学習

10月15日 ライトアップ夜景遺産認定お祝いイベント

有志打ち上げた大輪まち彩る

宮守町内の商店や企業などで結成された「あきない会」が、めがね橋(宮守川橋梁)の2020年日本夜景遺産「ライトアップ夜景遺産」認定を記念して、銀河の森運動公園で花火10発を打ち上げました。めがね橋周辺には多くの市民らが駆け付け、夜空に打ち上げられた大輪を楽しみました。



めがね橋と花火の初コラボが実現(多重露光により撮影)



9月26日 旧三田屋ありがとうの会

地域の宝に込める感謝

ありがとうの会は、来夏オープン予定の「こども本の森遠野」の整備地・旧三田屋で開かれ、遠野町5区自治会や一日市商店街などの関係者ら約50人が参加。引っ越しや清掃作業後、思い出を語り合いました。参加者は、呉服店時代から100年以上、人々の集いの場となってきた旧三田屋に感謝を込めました。



旧三田屋で思い出を語り合う参加者

10月3日 みんなでスポーツDay

笑顔で運動、スポーツの秋!

同イベント(遠野市陸上競技協会主催)は国体記念公園市民サッカー場で開かれ、親子連れなど約70人が人工芝のグラウンドでランニングやニュースポーツを楽しみました。市のICT健康づくり事業の体組成計測定や、整体師による健康相談も実施。来場者は元気に動き回り、健康への関心を深めました。



バランス感覚を磨くスラックラインに挑戦

10月10日 釜石線全線開業70周年

70周年記念し特別列車運行

釜石線全線開業70周年を記念して、JR盛岡支社が特別列車「リゾートあすなろ」を釜石～花巻間で運行しました。本市を含む5市町村から無料招待された131人が乗車。遠野駅では、細越獅子踊り保存会の勇壮な舞とともに市民らが温かく出迎え、住民の生活と地域発展を支えてきた同線の記念日を祝いました。



横断幕を持って特別列車を歓迎

9月23日 スポーツを通じた共生社会推進

市と順天堂大学が連携協定締結

市と同大学スポーツ健康科学部が共生社会の推進や地域振興を図るため、同協定を結びました。協定内容は▷共生社会・パラスポーツの理解推進▷地域特性を生かした賑わい創出▷パラスポーツ・共生社会推進の担い手育成など5項目。今後は、両者が連携してスポーツを通じたまち・人づくりを展開します。



インターネットで2会場を結び開かれた締結式

9月29日 佐々木喜善祭

物語110周年の年、喜善を思う

同祭(土淵町地域づくり連絡協議会主催)は、『遠野物語』の話者・佐々木喜善を偲び、功績を後世に伝えることを目的に開かれました。物語発行110周年の今年は、新型コロナウイルス対策のため偲ぶ会を中止。関係者による墓参のほか、伝承園に献花台が設けられ、園児や小学生らが郷土の偉人に思いを巡らせました。



伝承園で献花する土淵保育園児

10月8日 どんぐり・花を育てようin遠野

未来へつなげる緑の活動

青笹森林愛護少年団が結成20周年を迎え、青笹小学校で同事業が行われました。森林インストラクターの川村冬子さんが森林の種類や役割について講演し、4～6年生65人が自然について学びを深めました。同日4年生は、ミズナラの実などを植え、プランターカバーを作成。体験活動を通して植物に親しみました。



ミズナラの実をプランターに植える児童